学校番号	218

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	(学)応用国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	「ニューエイジ　現代文　基礎１」　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・進学を目指す人や、より難度の高い文章に挑戦したい人を対象にします。
・様々な文章を読み、問題を解くことをとおして、論理的に「読む能力」と適切な表現で「書く能力」の向上を目指します。
・自分でしっかり読み解くことが必要となります。授業中の取り組みはもちろん、授業のあとには内容の復習をしてください。

2　学習の到達目標

・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・自分の考えや思いを適切な言葉で表現することができる。
・論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めると共に、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめて、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 (テキスト・プリント等)	行動の観察 (授業中の発言や発表等)	記述の確認及び分析(テキスト・プリント等) 定期考査	記述の確認及び分析(テキスト等) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (テキスト・プリント等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期中間	現代文の読み方を知る	文章の読み方の基礎を学ぶ 教材:「ニューエイジ　現代文基礎　1」	○			◎	○	a:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。 d:自分の力で文章内容を読みとり、まとめようとしている。 e:文章の組み立てについて理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 e:定期考査
一学期期末	評論	様々な文章のうち、特に評論を取り上げ、読み解き方の基礎の定着を図る 教材:「ニューエイジ　現代文基礎　1」	○		○	◎	○	a:評論文の読み方について理解し、問題を解こうとしている。 c:説明するとき、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを適切に書き分けている。 d: 文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察 c、d:記述の点検及び分析 e:定期考査
二学期中間	小説	様々な文章のうち、特に小説を取り上げ、読み解き方の基礎の定着を図る 教材:「ニューエイジ　現代文基礎　1」	○		○	◎	○	a: 評論文の読み方について理解し、問題を解こうとしている。 c: 説明するとき、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを適切に書き分けている。 d: 文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a：行動の観察 c、d:記述の点検及び分析 e：定期考査

二学期期末	評論	入試を視野に入れ、より難度の高い文章、特に記述問題に力を入れて「書き方」を学ぶ 教材:「ニューエイジ現代文基礎 1」 「要約完成アシスト＋テーマ語彙」	○		◎	○	○	a: 文章の内容を必要に応じて要約しようとしている。 c: 自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書いている。 d:語句や表現に注意して文脈をとらえ、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。 e:書くことに必要な文の組み立てについて理解している。	ａ：行動の観察 c、d：記述の点検及び分析 ｅ：定期考査
学年末	小説	入試を視野に入れ、より難度の高い文章を、特に記述問題に力を入れて「書き方」を学ぶ 教材:「ニューエイジ現代文基礎 1」 「要約完成アシスト＋テーマ語彙」	○	○	◎	○	○	a:文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図をとらえようとしている。 ｂ：目的や場に応じて、的確に聞き取り話している。 c: 自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書いている。 d: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況をとらえる手がかりとしている。 e: 書くことに必要な文の組み立てについて理解している。	ａ：行動の観察 ｂ、c、d：記述の点検及び分析 ｅ：定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付

けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。